

地方創生推進交付金事業実施評価

地域再生計画の名称:さかたへの移住・定住促進と酒田港を活かした「産業・交流都市さかた」実現計画

| 番号 | 交付対象事業の名称 | 事業内容・評価 | 実績額 単位:円 | 本事業における重要業績評価指標(KPI) | | | | | | | | | | 評価 | 実績を踏まえた今後の方針 | 外部有識者の意見 | | |
|----|--------------------------|---|-------------|----------------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----------------|---|---|-----|
| | | | | 指標 | | H28 | | H29 | | H30 | | H31 | | | | | H32 | |
| | | | | | | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 目標値 | 実績値 | | | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | さかたへの移住・定住に向けたトータルサポート事業 | <p>【移住交流の推進】 UIJターンへ結び付ける取り組みとして、総合相談窓口設置によるフットストップ化、積極的なPR展開や移住者交流会の開催に対する支援など総合的な施策を展開した。 本市にゆかりのなかった移住者は、平成28年度は18人おり、これらの人が自らの力だけで住まいや仕事、その他生活に関する情報を収集し移住に至るのは困難であると思われることから、総合相談窓口の設置は移住者数の増加に対し効果があったと考えられる。</p> <p>【UIJターンの促進】 首都圏でUIJターン希望者を募り、「さかた産業フェア」等を見学するツアーを実施し、企業関係者や移住経験者との交流を通して、酒田での起業・就職に関する動機付けを行った。直接UIJターンに結び付いている事例もあるため、事業の効果は大きい。</p> <p>【UIJターンマッチング支援】 UIJターンコーディネーターを配置し、市ホームページに求職・求人情報を掲載し職業紹介を行う「UIJターン人材バンク」を運営するほか、UIJターン就職希望者へハローワーク求人情報や就職ガイダンス等の情報を提供した。 UIJターン人材バンク及びUIJターンコーディネーターにより、UIJターン就職の実績が増加しており事業効果は大きい。</p> <p>【郷土愛の醸成】 これから担う子どもたちが、現代社会を生き抜くうえで確かな力、身に付けなければならない基本的な知識の習得や会話、職業観の醸成、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、郷土愛の醸成を図った。 地元庄内で働く若者から「仕事の楽しさ」や「人生の面白さ」を直に聞く機会を提供しており、地域で働くことや郷土に対する関心を高めることに寄与している。</p> | 9,323,705 | 指標① | 移住者数(人) | 30 | 36 | 40 | | 60 | | 70 | | 81 | 地方創生に相当程度効果があった | <p>【移住交流の推進】 移住(検討)者に対する総合的な支援の必要性は高いことから、事業内容の「ニューアルや「お試し住宅」など新しい取り組みを通して、更に移住・定住対策を推進していく。</p> <p>【UIJターンの促進】 「さかた産業フェアツアー」により地元企業への就業機会の拡大を図り、若者の地元定着を促進する。</p> <p>【UIJターンマッチング支援】 UIJターン人材バンク及びUIJターンコーディネーターによりUIJターン就職を促進させる。</p> <p>【郷土愛の醸成】 提供メニューの見直しや実施枚の拡大を図る。</p> | <p>・移住関連事業については各自治体間での競争となっている。東北地方は冬が寒いことがマイナス要因となっているが、それを乗り越えてでも移住してもらえるような施策を打つべき。酒田市単独では無理なので、山形県との連携により取り組むべき。</p> <p>・教育により、地域に残ってもらえるように仕向けるべき。</p> <p>・可能な限り高校生が地元で就職できるような施策を打つべき。給与、就業条件等、できるだけ若者が地元に残るような環境を整える必要がある。</p> <p>・地元にいる者が「地元には何も無い」と言っている限り、地元を離れた人たちが戻ろうとは思わない。地元の良いところを知り、自信と誇りを育てることが大切。</p> | |

